

# 平成27年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区名	東淀川区
学校名	新東淀中学校
学校長名	西川孝治

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成27年4月21日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学・理科）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

## 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
- ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- ※ 理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題

### (2) 質問紙調査

- ・生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第3学年の原則として全生徒
- ・新東淀中学校では、第3学年 207名

## 平成27年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は、全国と比べて、国語A問題…-1.3%、B問題…-0.9%、数学A問題…-2.8%、B問題…-1.7%、理科…-1.5%であり、大阪市と比べて、国語A問題…+1%、国語B問題…+1.3%、数学A問題…-2.4%、数学B問題…-1.5%、理科…+2.2%という結果であった。分野別に平均正答率を全国と比較してみると、国語では、すべての領域で正答率が低く、特に書くことの領域はA問題で-4.8%、B問題で-4.9%と差が大きく、数学でも、すべての分野で正答率が低く、特に関数と図形の分野に関しては著しく低かった。理科は、観察・実験の技能が、-12.4%と大きく差がついている。大阪市との比較では、国語は、書くことの領域以外は正答率を上回っており、数学では、資料の活用分野のみ、正答率を1.3%上回っていた。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「書く」問題に対して、苦手意識を持つ生徒が多く、どう書き始めていいのかわからない、何を書けばいいのかわからないという傾向が見受けられる。理解度の高い品詞の問題、古典の作品名については、反復学習を通じて定着してきている。習熟度別学習等を活用しながら、「書く」学習活動を増やすことで、書く力を伸ばしていく必要がある。

〔数学〕基本的な計算をする技能が定着していない。また、面積や体積を求めるような知識と処理を両方必要とする分野の問題を解く力、変域や変化の割合といった言葉の意味の理解を苦手としている。人員と教室の確保など、課題も多く通年での実施が難しいが、理解の不十分な生徒への手立てとして、習熟度別学習を充実させていく必要がある。

〔理科〕観察・実験の技能の力を伸ばすために、①実習の回数を増やし、②事前・事後指導をていねいに行い、③パフォーマンステストを取り入れる等、授業の更なる充実を図る必要がある。

質問紙調査より

「国語や数学の勉強が好きだ」「授業の内容がよくわかる」と解答した生徒が比較的多く、国語A問題、B問題、及び、数学A問題、B問題ともに、最後まであきらめずにいろいろな方法を考えて、最後まで解答を書こうと努力し、考えた生徒の割合がとても高い。一方、授業などで発表するときに、話の組み立てを工夫し、うまく伝わるようにする意識を持つ生徒の割合が低く、興味・関心を持たせるような導入などの工夫を継続して行い、生徒間で話し合う活動や、グループで課題に取り組み発表するなどの学習活動を増やしていく必要がある。また、各教科間の連携を図りながら、表現力、及び、言語力や計算力、数量関係の把握、文章読解力等の力を伸ばしていく必要がある。

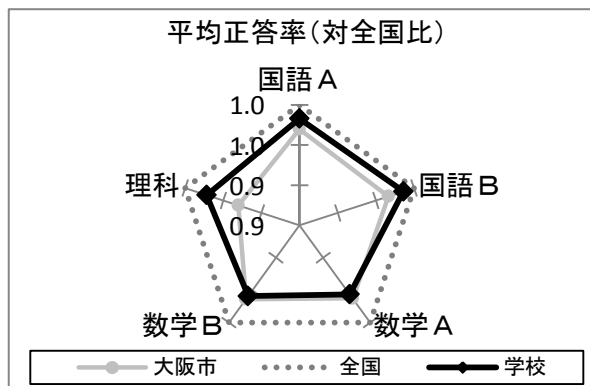
## 今後の取組

基礎・基本となる学力の定着を図るために、日常の課題提出の徹底や、定期試験前の質問教室の充実、朝の学習などを活用して、意欲的に学習することができる機会を増やしていく必要がある。学力を向上していくためにも、学校での授業だけでなく、生徒一人ひとりが自主的に学習する姿勢の向上と、家庭学習の環境を整えて限られた時間を十分に活用していくことが大切である。いずれの授業においても、演習問題を行う時間を十分にとりながら、基礎学力が定着するように努め、興味・関心を喚起させることができる授業の導入や展開での工夫がこれまで以上に必要である。「学力向上アクションプラン」に沿いながら、生徒の実態に合わせた教材研究を行い、教員自身の授業力の向上を図り、生徒一人ひとりが「できる」「わかる」から、更には「楽しい」「解きたい」という気持ちに向かう教科授業の構築が今後の取組の最重要課題である。

## 【 全体の概要 】

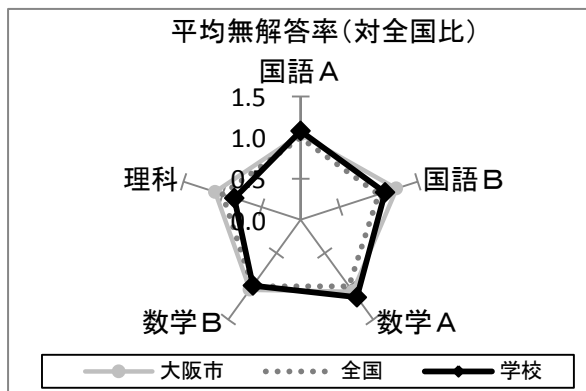
### 平均正答率（％）

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
学校	74.5	64.9	61.6	39.9	51.5
大阪市	73.5	63.6	62.0	40.1	49.3
全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0



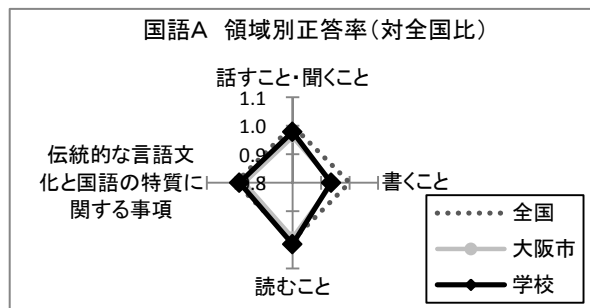
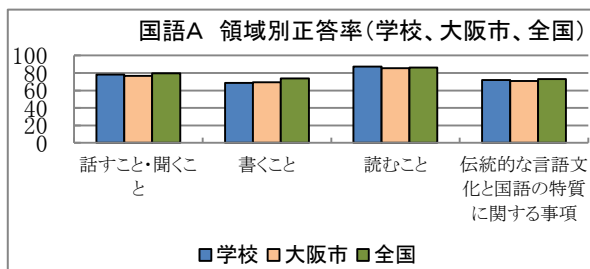
### 平均無解答率（％）

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
学校	2.8	2.4	4.3	15.1	5.9
大阪市	2.7	2.7	4.0	16.1	7.6
全国	2.6	2.2	3.7	15.3	7.0

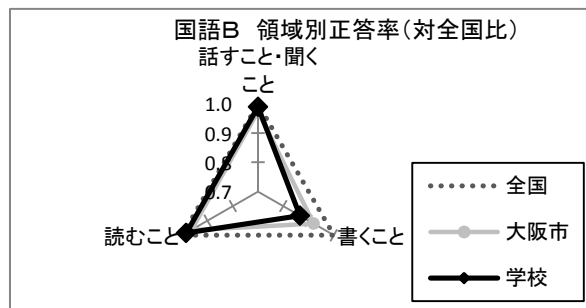
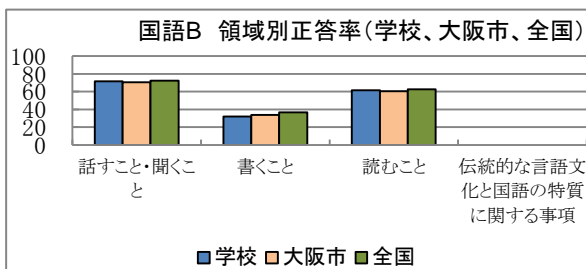


## 【 国 語 】

A 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	78.0	76.6	79.7
	書くこと	5	68.8	69.3	73.6
	読むこと	5	87.4	85.5	86.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	19	71.9	70.7	72.9

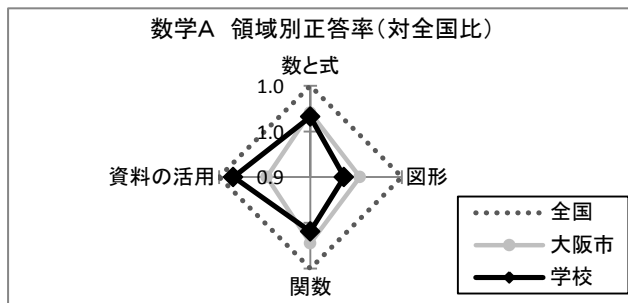
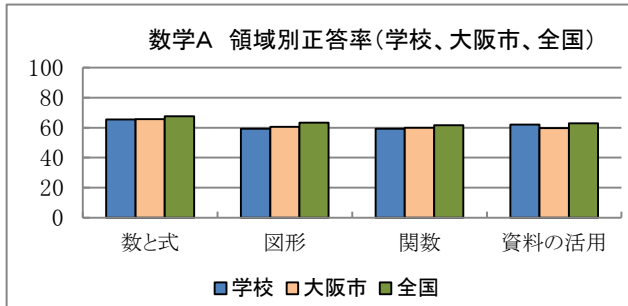


B 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	71.5	70.4	72.2
	書くこと	3	31.8	33.8	36.7
	読むこと	6	61.6	60.3	62.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	—

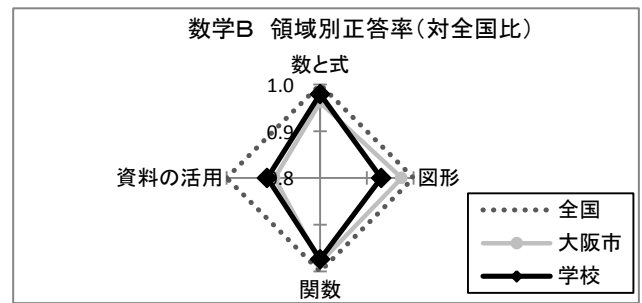
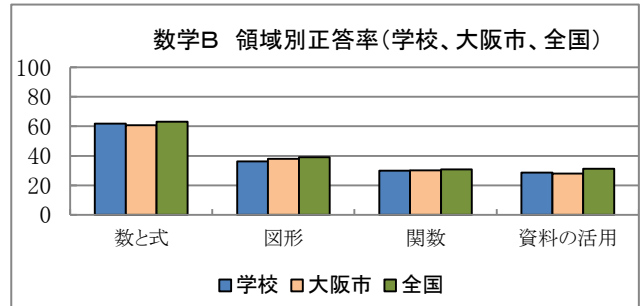


## 【 数 学 】

A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	12	65.4	65.7	67.7
	図形	12	59.4	60.5	63.4
	関数	8	59.2	60.0	61.7
	資料の活用	4	62.0	59.7	63.0

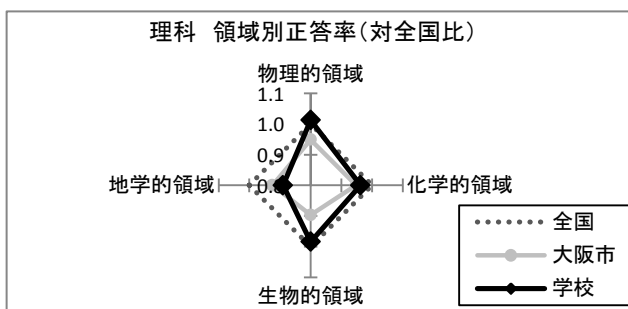
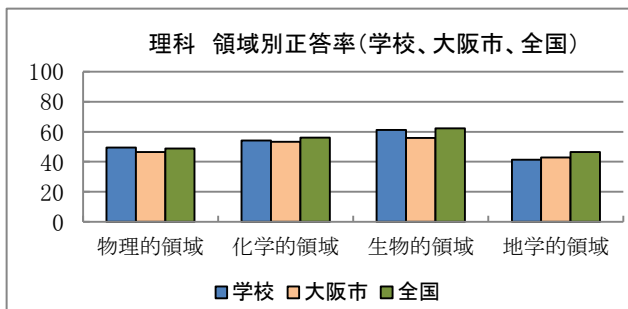


B 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	4	61.9	60.8	63.2
	図形	4	36.3	38.0	39.0
	関数	5	29.9	30.1	30.7
	資料の活用	2	28.5	28.0	31.2



## 【 理 科 】

			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	物理的領域	7	49.5	46.4	48.9
	化学的領域	7	54.1	53.3	56.2
	生物的領域	6	61.2	55.8	62.2
	地学的領域	6	41.3	42.9	46.4



# 生徒質問紙より

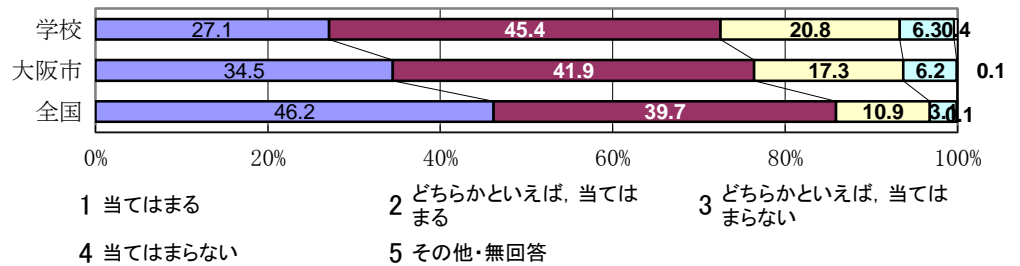
1 2 3 4 5 6 7 8 9

質問番号

質問事項

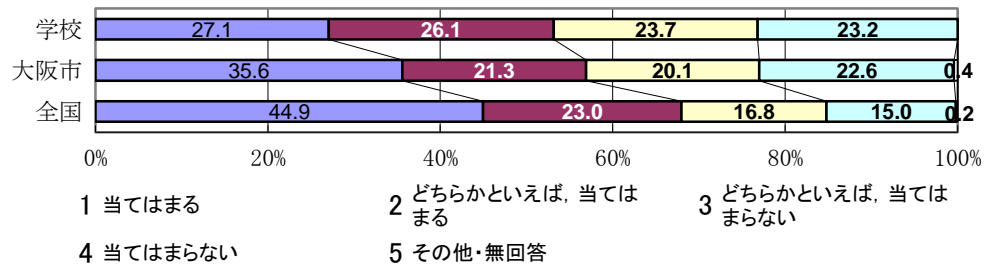
38

1, 2年生のときに受けた授業では, 自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか



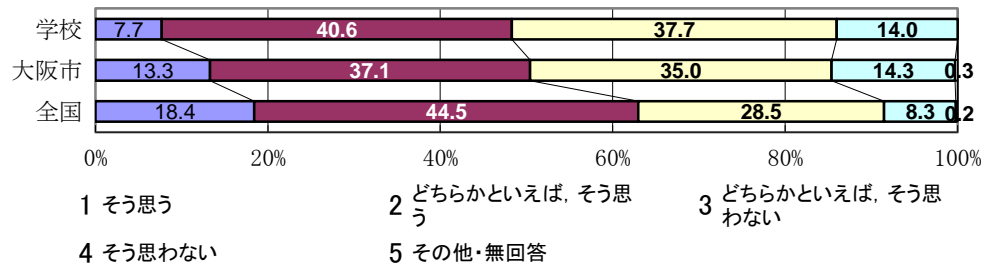
51

読書は好きですか



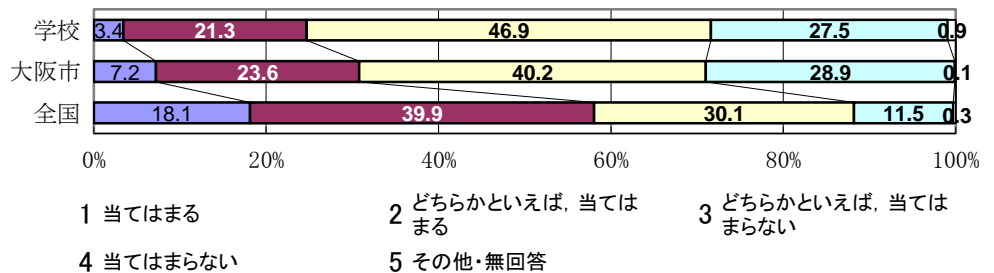
46

生徒の間で話し合う活動を通じて, 自分の考えを深めたり, 広げたりすることができていると思いますか



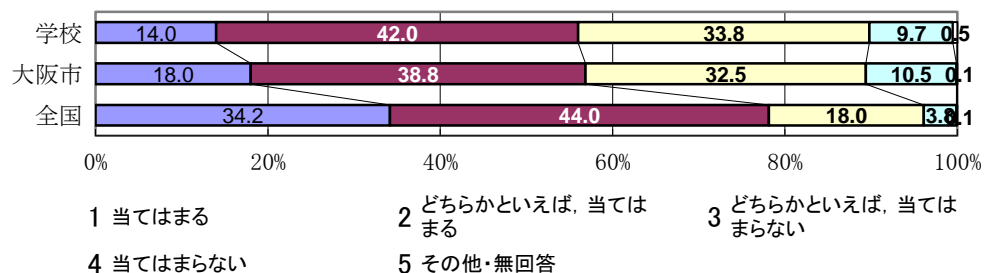
37

「総合的な学習の時間」では, 自分で課題を立てて情報を集め整理して, 調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



39

1, 2年生のときに受けた授業では, 生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか



# 生徒質問紙より

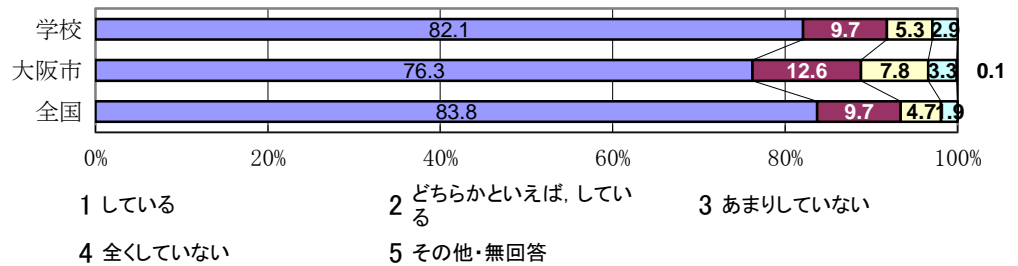
1 2 3 4 5 6 7 8 9

質問番号

質問事項

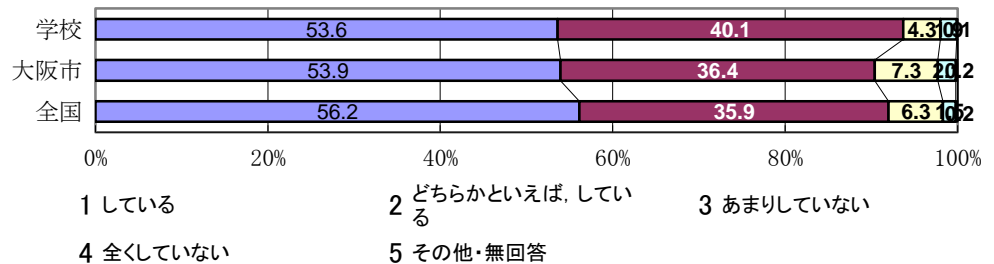
1

朝食を毎日食べていますか



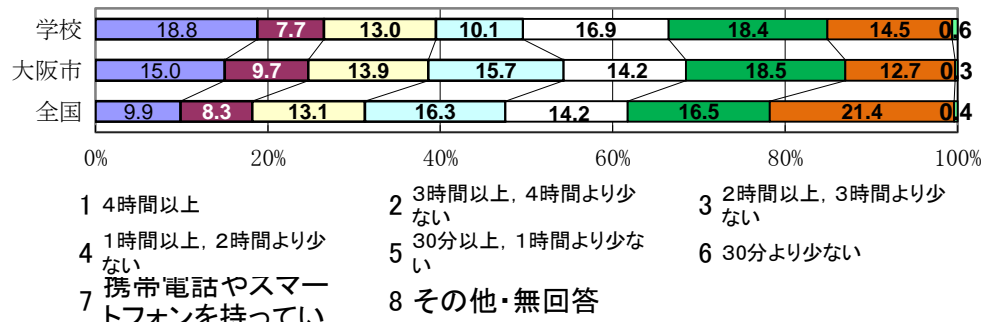
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



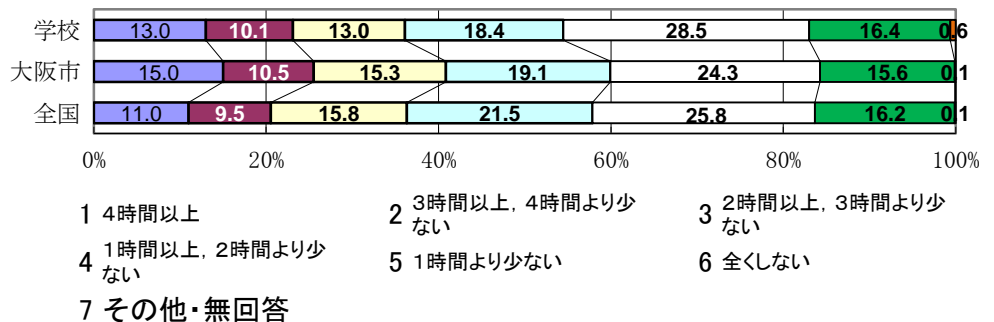
12

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)



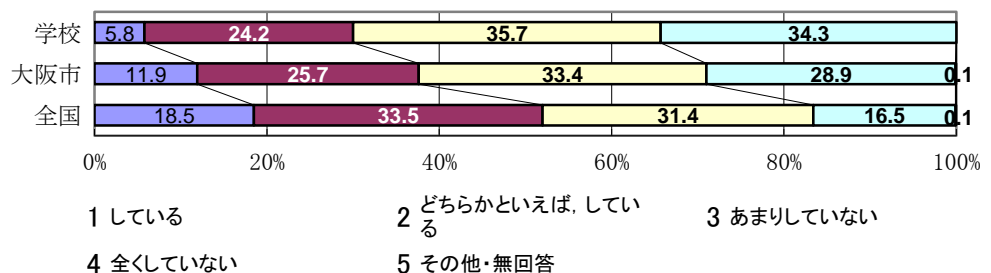
11

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



23

家で、学校の授業の復習をしていますか



# 生徒質問紙より

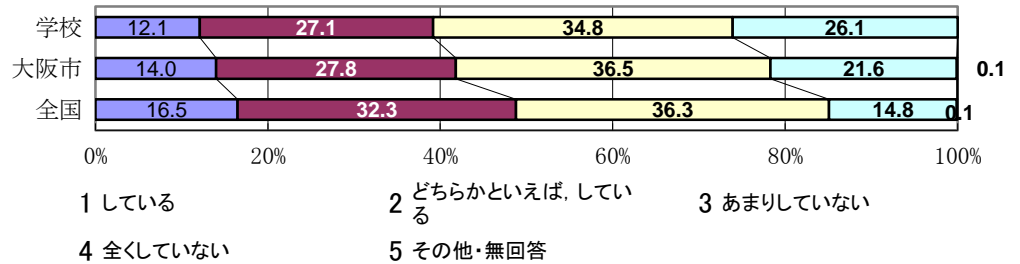
1 2 3 4 5 6 7 8 9

質問番号

質問事項

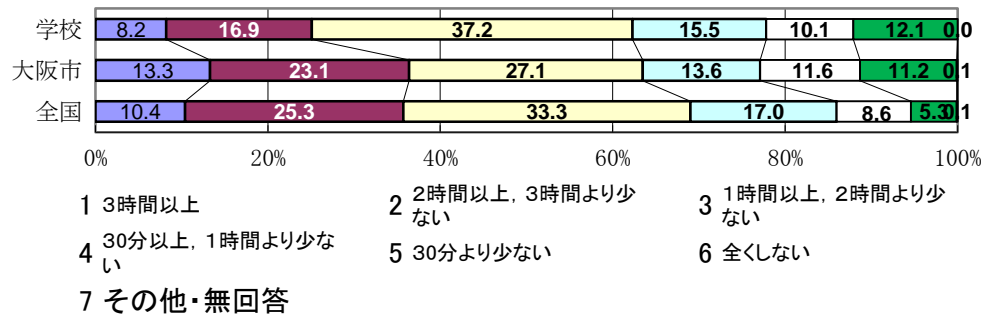
20

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



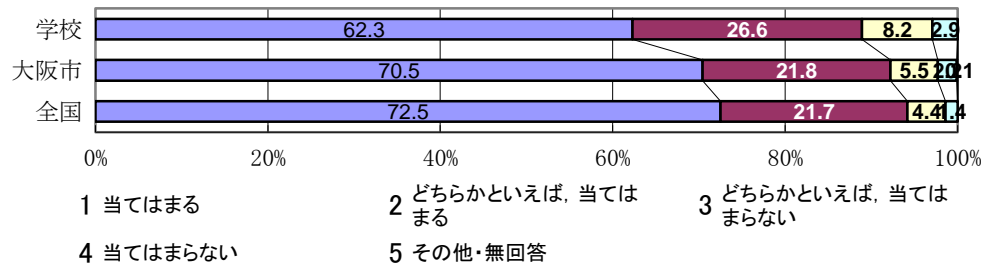
13

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



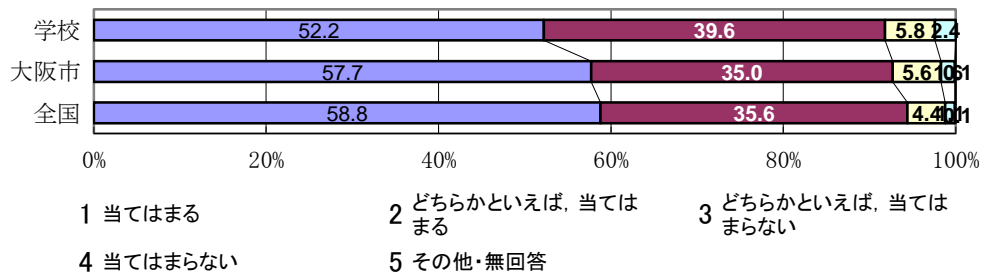
4

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



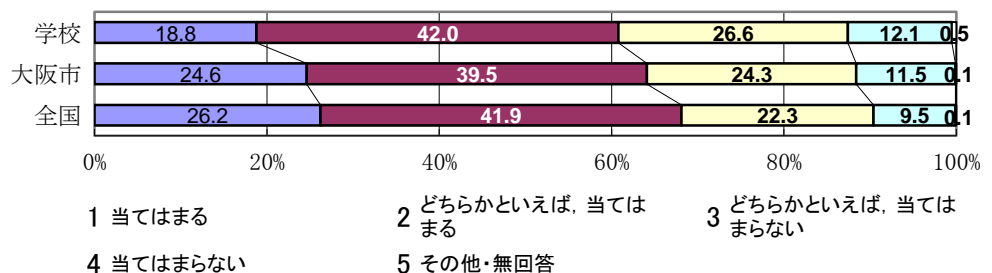
32

学校の規則を守っていますか



6

自分には、よいところがあると思いますか





# 生徒質問紙より

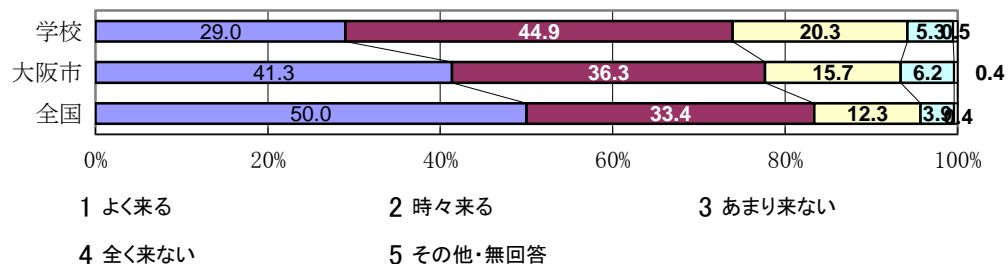
1 2 3 4 5 6 7 8 9

質問番号

質問事項

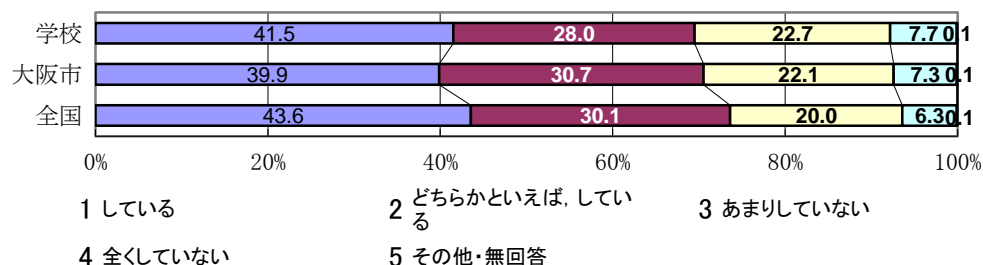
19

家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか



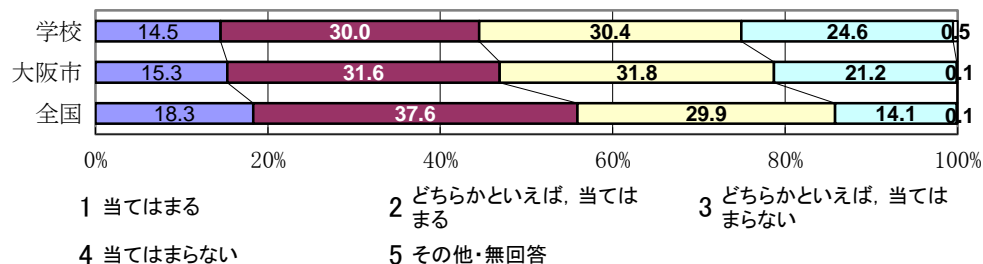
18

家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか



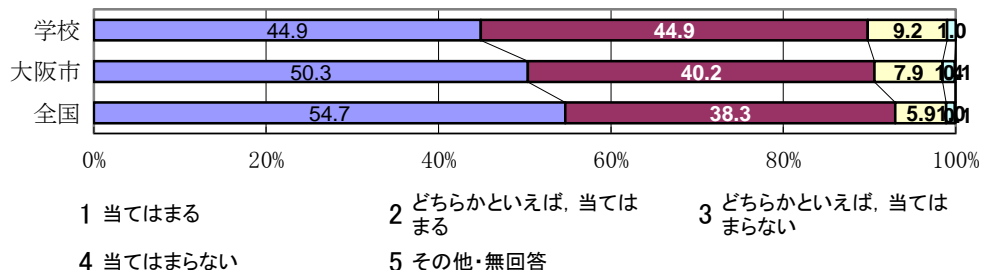
28

地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか



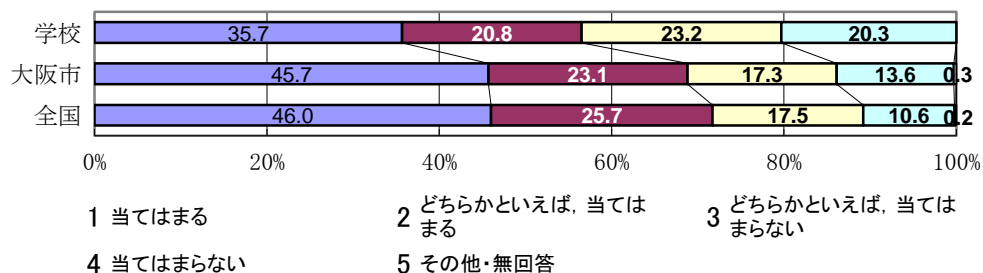
8

友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか



9

将来の夢や目標を持っていますか





# 学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

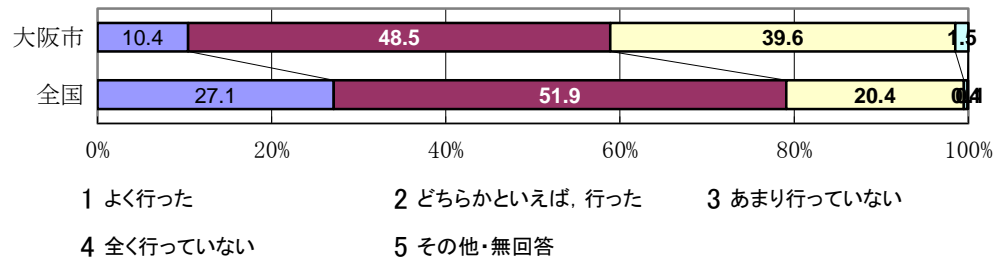
質問番号

質問事項

36

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか

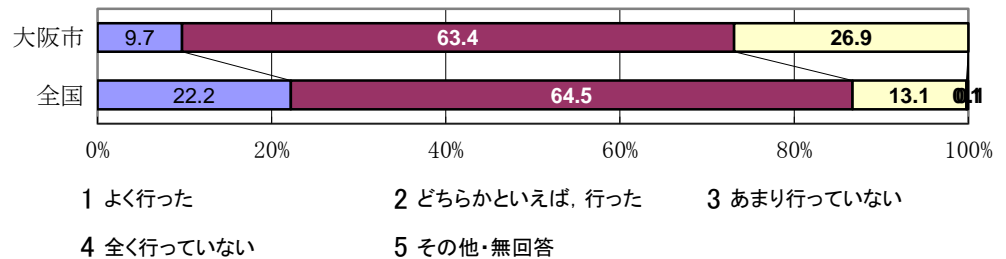
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



31

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか

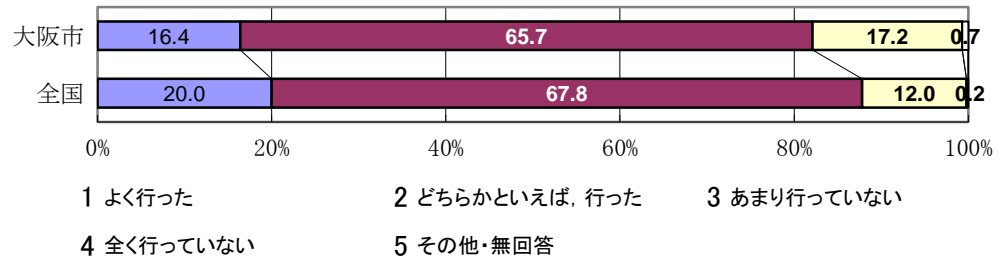
学校 「あまり行っていない」を選択



40

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか

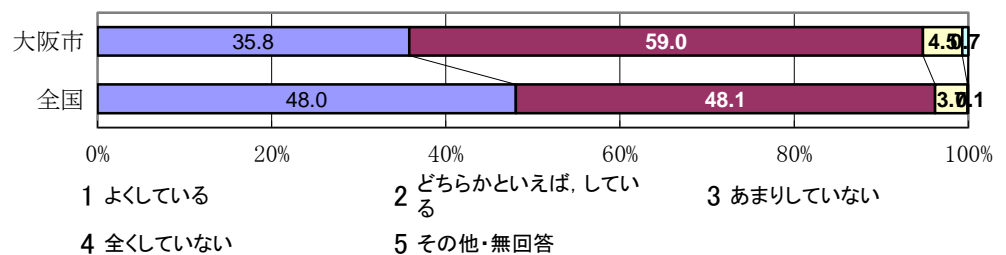
学校 「あまり行っていない」を選択



109

学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



101

授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか

学校 「年間1回から2回」を選択

